

●工事状況

4階床の躯体工事も終盤に差し掛かり、南側の高台側から見ても建物が見えるほどに、現場に高さが出てきました。7月にはタワークレーン（家康号）がさらに上部にせり上がるため（クライミングと呼ばれます）、より高さを感じられるようになります。また、内装工事の方も着々と進んでいます。1階では、型枠・支保工解体が終わり、防水工事、耐火被覆工事などの工事も順調に進んでいます。内装工事でも本格的に始まったこともあり、協力業者の方々が増えてきましたが、安全を第一に考え、無事故無災害で工事を進めてまいります。

●壁の向こうは・・・？（工事紹介）

皆さんは主に立体駐車場等の天井を見た時に、右の写真のような光景を目にしたことがあるのではないのでしょうか。これは“耐火被覆”と呼ばれ、構造体である鉄骨を火災時の熱から守る役割があります。鉄骨は火災時の熱に弱く、350～500℃以上になると次第に軟化し、建物の荷重によって床が落ちたり、鉄骨が曲がって倒壊する恐れがあります。耐火被覆材は耐火材によって鉄骨を包み込むことによって、火災時において鉄骨を熱から守り建築物の強度を保ち、避難中に建物が倒壊せず人命の保護がなされるようにするための極めて重要な工事なのです。

定点写真



これは一体…？熱から建物を守ります！



●工程

	令和4年度	工事進捗率	25.1%
	6月	7月	
躯体工事	4.5階 柱/梁/壁/床 鉄筋/型枠/コンクリート工事	5.6階 柱/梁/壁/床 鉄筋/型枠/コンクリート工事	
仕上工事	防水工事・断熱吹付工事・耐火被覆工事・軽量間仕切壁工事	防水工事・断熱吹付工事・耐火被覆工事・軽量間仕切壁工事	
設備工事	外構工事・スリーブ工事・免震層/ビット内/1階設備工事	外構工事・スリーブ工事・免震層/ビット内/1階設備工事	

●コラム《高校生の見学会を実施しました》

令和4年6月13日に浜松工業高校の皆様が現場見学にいらっしゃいました。免震層・内装工事・躯体工事をご見学いただきましたが、都度鋭い質問をされる学生様が多くいらっしゃることに感銘を受けました。我々もより一層貪欲に技術を身に付けていかなければと、気を引き締める思いです。

将来建設業を志す若人達に、建設業を志してよかったと感じていただける見学会となったと自負しております。ぜひ建設業に進んでいただいて、将来現場管理だけでなく、設計者やたまた別の立場であっても、業界内で再びお会いできるのを楽しみにしております。

